



枯れ葉かな、いや違う、何だ !

学 園 長 小 島 澄 人

子どもたちに見てもらおうと思って、大好きなジャガイモの「根っこから実、種芋、茎、みんな繋がっている様」がそのまま残っているように、男性の先生に掘ってもらった。ジャガイモが大好きなのは、その美味しさは勿論だが、「種芋が自分そのものをしわくちやになるまで、身を粉にして育てる」その姿に惹かれるからです。小学生の時、その種芋の変わり果てた姿に感動したのを忘れられません。この日も、その種芋を探しました。ない、消えてしまったのか、落としてしまったのか、えっ、よく見るとありました。「枯れ葉かな、いや違う、何だ!」そこに枯れ葉のように薄く、透き通って丸の形をした物、ありました、種芋です。凄いですね。

どんな種も、どんな実も、苗も、種芋も、その種の繁栄、存続の営みとはいえ、その不思議さと計り知れない力に「神、いや想像を絶する力ある存在」を感じます。植物も、生物も、木々も、動物も必死で子育てをしているのかも知れません。私たち「人」も、負けないぐらい、いや表現できないぐらい努力と苦勞を重ねながら、毎日毎日子育てに精進しています。また自分の「人」として、「生きる」「学ぶ」「働く」「楽しむ」「喜ぶ」「育てる」「信じる」・・・、意志、感情、願い、祈り、そして欲など、たくさんの思いを抱えて必死に生きています。それだけで素晴らしい、たくさんの方々に褒められ認められても足りないぐらいです。なのに、なぜか「まだまだ」と思う真面目な「人」、また一方で「何をしている、どんな子育てをしてきたのか」と、人批判をする方々もたくさんいます。「枯れ葉かな」、そこまでは身を粉にしてはいなくても、まず認めて貰って受け入れられ、時には助けられまたは助ける、ささいな「存在感・存在価値」を感じたいものです。

暑くなりました。蒸し暑くもなりました。疲れは増します。子どもも、大人も。疲れると、ついつい声が荒っぽくなりがち、悪く悪くとらえがちです。「のんびり」「楽しむ」「ありがとう」を大切に過ごしたい。子どもを、周りの人をよく見ることから、すると褒めることが一杯に。褒めることがなかなか出ないなら、誰にでも、何事にも「ありがとう!」、言葉にする、またつぶやいたらいいのかも知れない。私も「ありがとう!」の一日、一日にしたい。

